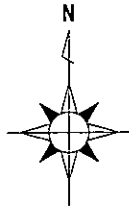
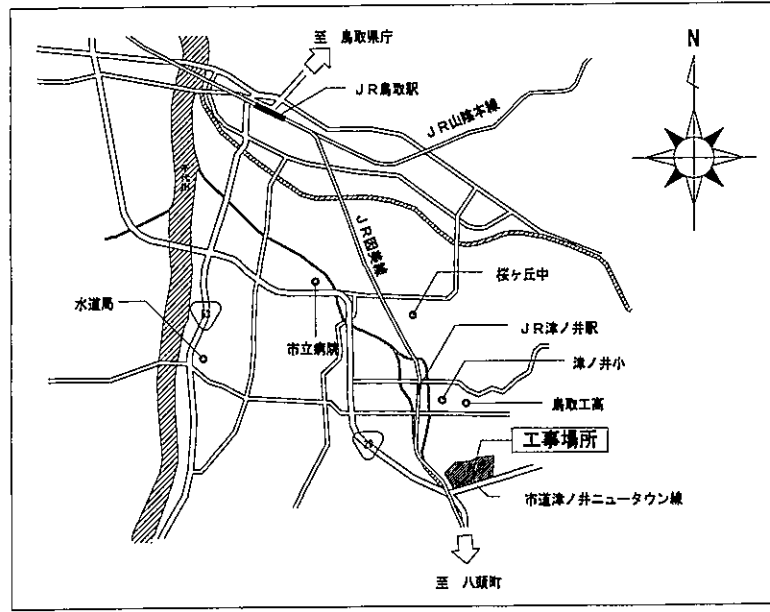


一 般 共 通	⑮工事用仮設物 16土工事	構内につくることが ※ できる ・ できない 埋め戻し土 ※ 複切土中の良質土 ・ 山砂の類 () ・ 真砂土 () 建設発生土の処理 ・ 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ・ 構内の指示する場所に埋積 本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。 EMケーブルで規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 通信ケーブルでJCS規格にない対象のケーブルはJCS規格に準じたものとする。 盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。 ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。	一 般 共 通 事 項	⑳補修など ㉑はつり ㉒はつり工事における非破壊検査 ㉓あと施工アンカー	工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならぬ補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 探査方法 ※電磁誘導式 ・ 放射線透過検査 ・ 1) 施工後確認試験 ※ 行わない ・ 行う 試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引張力以上 試験箇所数 1施工単位に対し1本以上 対象機器 ・ 配電盤 ・ 充電装置 ・ 直流電源装置 ・ 太陽光発電装置 実施する。 工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまで【概ね工期+21日】とする。) ※ 対象工事	10 拡 充 機 器	1増幅器	形式(・ 卓上形 ・ ラック形) 定格出力(W) 性能(・ Hi形 ・ Lo形) ・ 増幅器の入出力配線と外部配管(接続ボックス等)の接続はコネクターによる。
	⑯電線本数・管径等	分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。		34 室内空気中の化学物質の濃度測定	11 誘 導 機 器	1 音声誘導装置	検出方式(・ 磁気方式 ・ 無線方式 ・ 画像認識方式)	
	⑰電線類	盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。		㉕火災保険等	12 火 災 報 知 機 器	1 自動火災報知設備 2 自動閉鎖設備 3 ガス漏れ火災警報設備	受償機(・ 型線回線(遅延型) ・ 複合形 ・ 単独形) ・ 防火戸用(※ ラッチ式 ・ 電磁式) ・ 防煙ダンパー用(※ 電動復帰 ・ 手動復帰) ・ 防火シャッター用(※ 別建工事 ・ 本工事) 検知器(・ 天井取付形 ・ 壁取付形)	
	⑱屋外露出配管の仕上げ	屋外露出配管(厚膜電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ【めっき付着量 300g/m以上】とする。		36 鳥取県公共事業環境配慮指針	1 施工方法	埋設深さ ※ GL-300以上、補装のある場合は階下-300以上とする。 ・ GL-600以上(・ 車道 ・ 高圧配線 ・ 幹線 ・)		



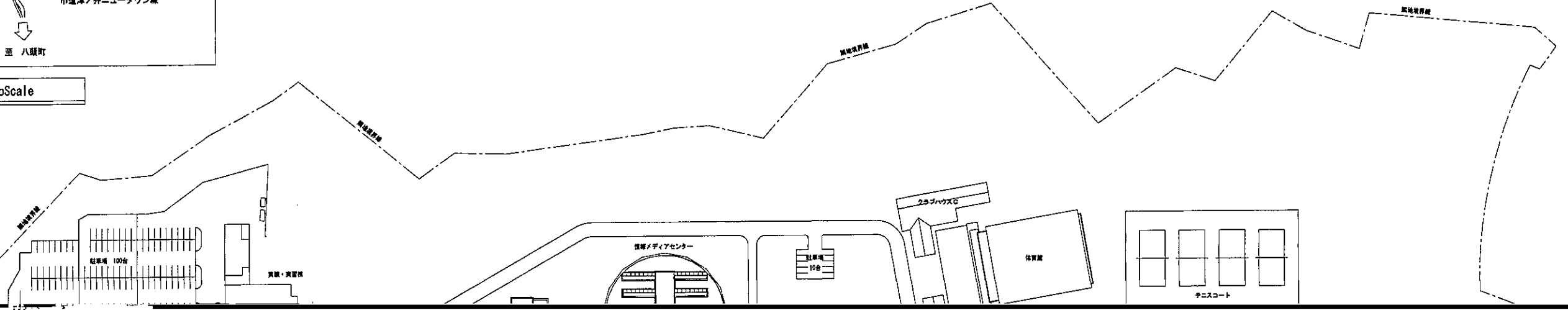
付近見取図 NoScale



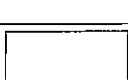


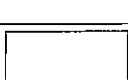


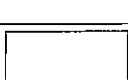
工事概要

1. 下記に記載の棟について、BEMS用の電力計測設備を設置する。

- ・情報メディアセンター
- ・学生センター
- ・本部講義棟

2. 1に伴う配管・配線更新、その他付随する工事。



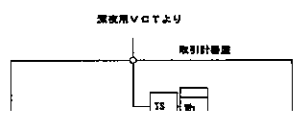
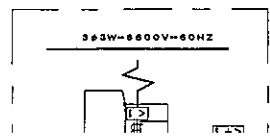
<p>1 システム概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 本システムは、多回線エネルギーモニタを設置し、各回線の電力量、電流等のエネルギー計測を行うものである。 多回線エネルギーモニタは、計測する各回線にCTを取り付け、専用CTケーブルで接続することにより計測を行うものとする。 電流系統の異なる計測ポイントは、本体ユニット又は異種系統ユニットに接続する。 各エネルギーモニタで収集した計測データは、LAN対応ユニットを介して管理ソフトを保有した管理サーバに保存することができるものとする。 また、イントラネットに接続されたクライアントPCからも管理サーバにアクセスすることでデータ管理が行えるものとする。 【地域別事業移行・異エネ種課交付金】に適用する仕様とする。 	<p>3 参考機器姿図 ※寸法値は参考とする。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1469 37 1929 115">管理サーバ</td> <td data-bbox="1929 37 2389 115">UPS 1.0kVA</td> <td data-bbox="2389 37 2908 115">クライアントPC</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1469 115 1929 241">  </td> <td data-bbox="1929 115 2389 241">  </td> <td data-bbox="2389 115 2908 241">  </td> </tr> </table>	管理サーバ	UPS 1.0kVA	クライアントPC			
管理サーバ	UPS 1.0kVA	クライアントPC					
							

棟名称	LAN対応 ユニット系統 <small>(別添)</small>	計測盤名称 (新設)	計測対象 分電盤名称 <small>(別添)</small>	員数 (新設)			備考
				本体	増設	表示設定	

CT

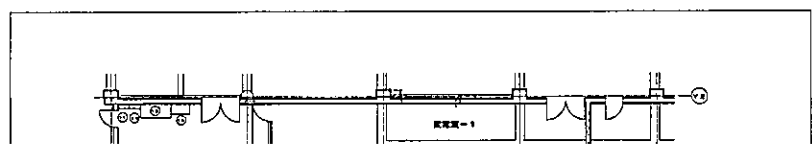
ケーブル

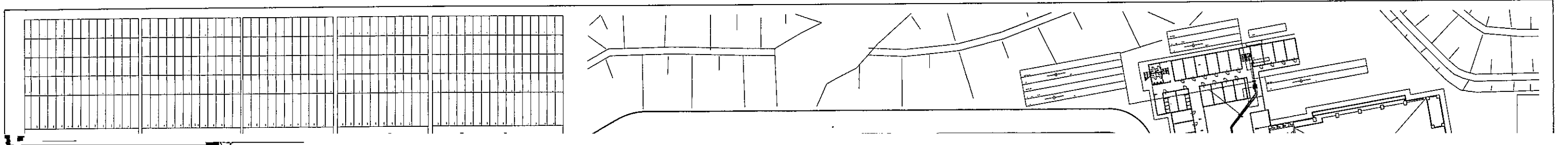
表示設定



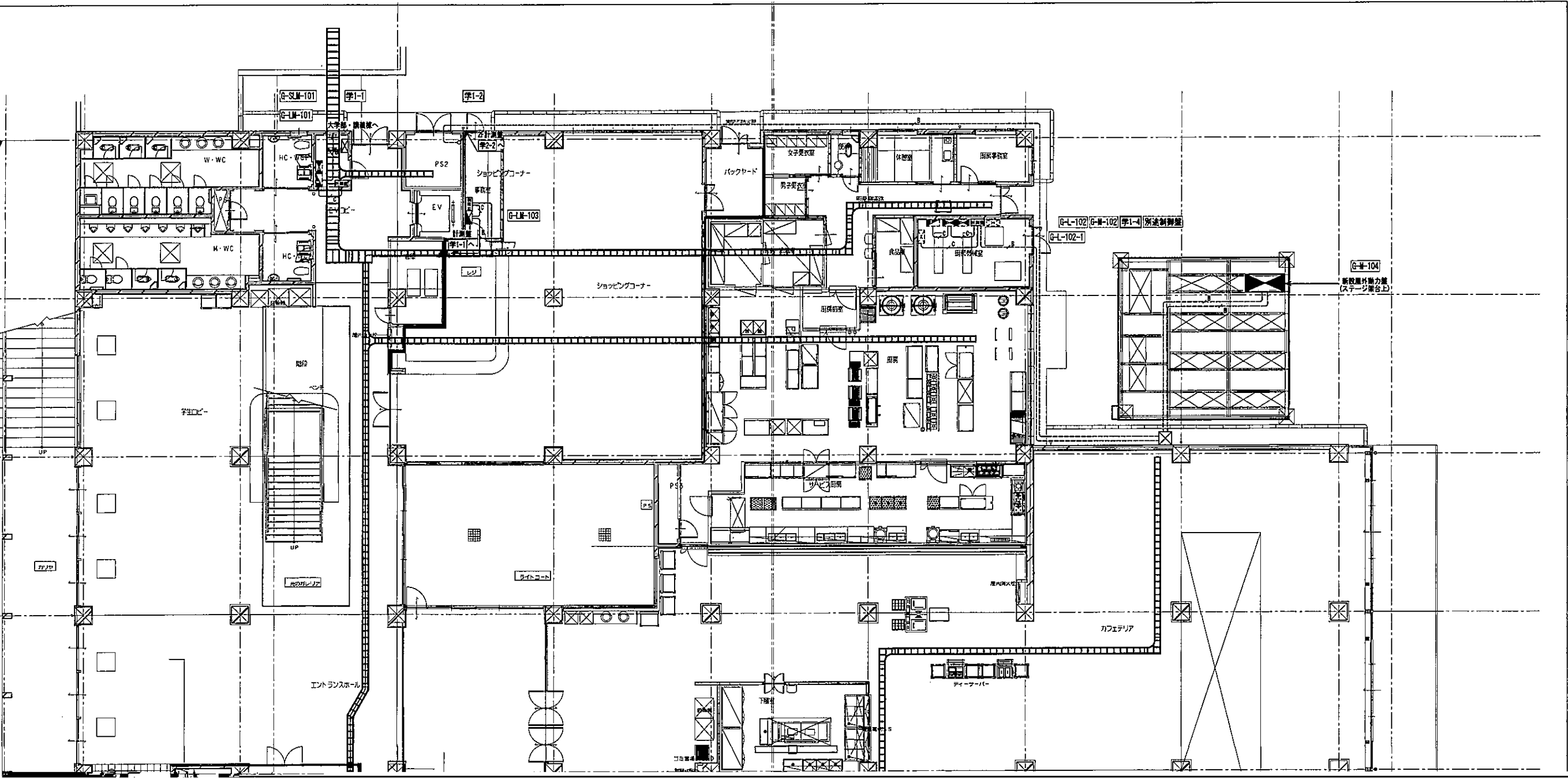
中央監視盤

○	操作
●	状態表示





Y7
7.200
Y6
7.200
Y5
7.200
Y4
7.200



イントランスホール

ショップングコーナー

カフェテリア

学1-1

学1-2

学1-3

学1-4

学1-5

バックワード

俳優練習室

俳優練習室

俳優練習室

俳優練習室

俳優練習室

俳優練習室

俳優練習室

W-WC

M-WC

HC

HC

EV

EV

P52

P53

P54

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター



エレベーター

エレベーター

エレベーター





エレベーター

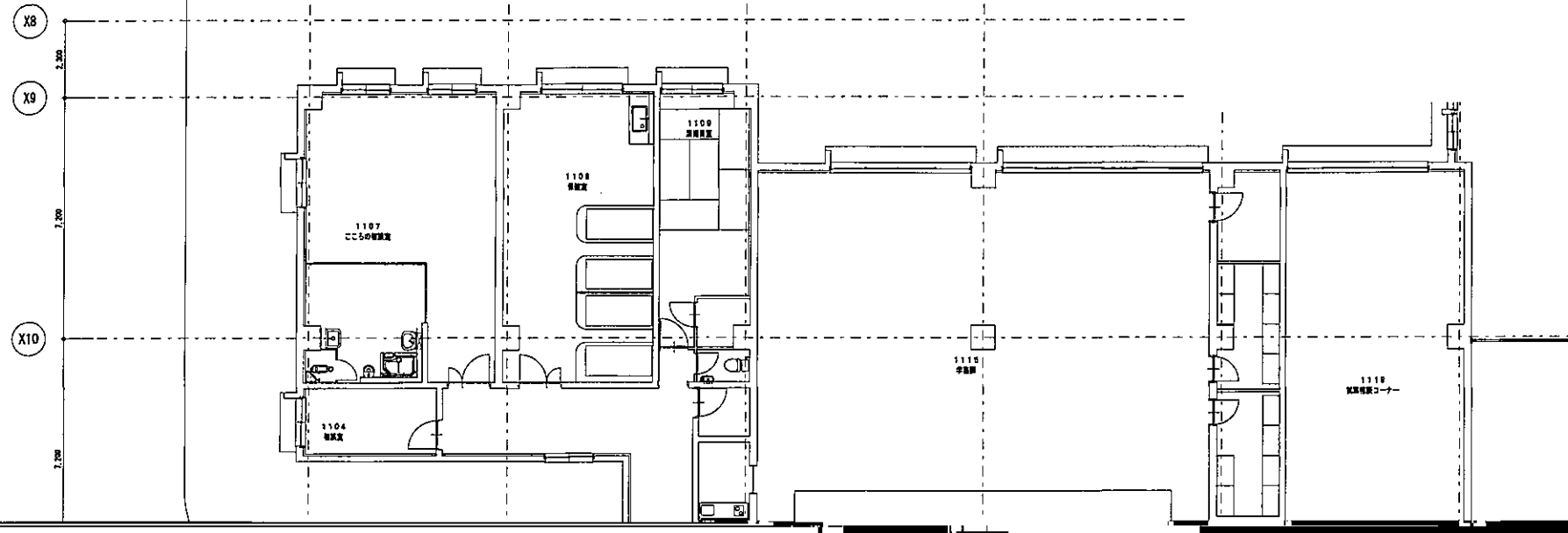
凡例

	エネルギー監視装置
	LAN対応ユニット収納盤

※注記

1. 特記無き記号は以下とする。

	EM-UT4P (CAT5e)
	EM-F0PEE 1.2-3P
	CVケーブル(専用線) EM-F0PEE 1.2-3P
	EM-EEF 2.0-3C



凡例	
PC	クライアントPC
※注記	
1. 特記無き配線は以下とする。	
—A—	EM-UTAP (CAT5e)
—B—	EM-FCPEE 1.2-3P
—C—	CVケーブル(専用線) EM-FCPEE 1.2-3P
—F—	EM-EFF 2.0-3C

X8
X9
X10
X11
X12

